



シマトネリコ [島戸練子]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 国内外来種



科名 モクセイ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株

明るい緑の葉が人気の常緑樹。高木も入手できるため、マンションなど大規模建築に合わせ配植される。シンボルツリーとしても利用されている。亜熱帯原産で、当初、観葉植物として利用されていたが、戸外でも植えられるようになった。雌雄異株で雌株は房状に実をつける。



Memo

都市部の一部行政機関では、国内外来種であるシマトネリコの移入を制限する指導が行われている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期					■	■							
	果実										■	■	■	
	紅葉													
	施肥	(早期に大木になるので施肥は控える)												
	剪定	■	■					■	■					■

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強		○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	○					
	花						
	葉						
	紅葉						
	黄葉						
	実香						

ポイント

沖縄を含む亜熱帯原産のため、寒風や積雪により凍害を受け落葉することがある。本土では既存の生態系に影響があるため、自然繁殖を抑える意味で、花後結実した枝ごと剪定するとよい。

剪定

強健で、生長力、萌芽力ともに旺盛な樹だが、寒さで落葉すると芽吹くのが遅い。早期に大木になるのでスペースに合わせ早目に芯を止める。枝抜き剪定をして樹形を維持するとよい。

病虫害

病虫害は比較的少ないが、スズメガの幼虫に食害されることがある。地面に虫糞を見つけたら駆除する。また、内皮が甘いためにカブトムシが集まり、幹を傷つけられることもある。